

一般貨物自動車運送業におけるその他の起因物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11～12	構内にて、4トンウイング車の荷台へ金属研磨屑（150kg～160kg）が入ったドラム缶を積み込み作業中、既に荷台に積みこまれたドラム缶の横に並べようと、ドラム缶を斜めにして移動させていたが、ドラム缶とドラム缶の間に左手人差し指を挟んでしまった。	33～29	10～29
1	18～19	積込先で敷地内の受付をし、トラックに戻る際、平らな何も無い地面につまずき倒れ、右手を地面に付け、上半身を支えようとした時に、右肩鎖骨付近のじん帯を損傷する。	47	—
3	6・7	作業のため車庫内にある車を移動させようと運転席に乗車したが、何かを思い出して降りたところ、近くに立て掛けていたタイヤの中に左足が入り込み、そのまま転倒して足首が逆折れした。	50	30～49
4	1～2	製品のラップをはがしている時に自分の足につまずき、地面に足を着いた衝撃で骨折した。	42	100～299
4	8～9	事務所内で開店準備中に、店内に置いてあったカゴにつまずき転倒し、左膝を強打し、右膝の皿を骨折した。	56	30～49
4	13～14	荷卸先にて手卸し作業中、急に右足ふくらはぎに激痛が走り、時間が経つにつれて腫れと痛みが増し、歩く事ができなくなった。	52	30～49
	16	ホーム上から階段を使わず飛び降りた際、下を見ずに飛び降りたため足元に置いて		50

4	～ 17	あったリン木（木片）の上に乗ってしまい、バランスを崩して転倒し、足を強く捻って骨にヒビが入った。	38 ～ 99
5	14 ～ 15	配送先のお客様宅にて商品搬入後、引き取りのベッドマットを2名で搬出作業していた際に後ろを向き、外側で商品を持っていたが靴が脱げてしまい、その勢いのお客様宅に設置してある止水栓を踏み、右足裏を裂傷した。	50 30 ～ 99
5	11 ～ 12	不在荷物を宅配BOXに入れようと、台車から荷物を持ち上げたところ、腰に痛みがはしり立てない状態となった。その後、ギックリ腰との診断を受けた。	50 30 ～ 99
6	8 ～ 9	積み荷の配送先付近路上において、屯トラックで住宅資材の配送作業中、道路反対側の配送先に確認連絡の為、路肩に車を停車して徒歩で道路を横断し、再度道路を横断して車に戻りかけた際、車の後方から停車中のトラックを追い越して走行してきた自転車に気付き、避けようとしたが、両者共に同じ方向に避けようとした為、自転車にぶつけられて転倒した時、頭部を打ち負傷した。	10 66 ～ 29
6	16 ～ 17	営業所車庫でトラック荷台を整理していた際、コンパネの上に足場板があることを忘れ、コンパネを持った時に足場板が右足甲に落下し、受傷した。	10 51 ～ 29
6	18 ～ 19	被災者は、積み荷状況の確認する為、車両後方にある観音扉を開けた際、荷台に置いてあった緩衝材を留めていたゴムが切れ、切れたゴムが飛び、右目に当たってしまった。被災者は、ヘルメット、安全靴を着用していた。	10 46 ～ 29
7	8~9	イベント終了後、作業員が解体を始めステージトラス上で電飾付きパネルを撤去中に配線用ケーブルを持ち、吊りワイヤーを切断したところ、コネクタより機材本体が外れステージ上に電飾付パネルが落下し、機材が破損し飛散した一部がステージ裏下で作業していた作業員のヘルメット頭頂部にあたり負傷した。	10 45 ～ 29
7	8~9	出社約2時間後に積み込み、その約2時間半後に卸しの作業際に熱っぽくなり、目眩及び倦怠感に襲われる（発熱ナシ）。その後出発し、別の場所での積み込み時、水分を摂るも改善せず、団地石油にて卸し（具合悪い状態が続く）作業を行った。熱・倦怠感があるなか帰社した。帰社後、受診中にクリニック内で倒れ、病院へ救急車で搬送集中治療室へ入る。10t大型タンクローリー車、ワンマン車に乗って	100 46 ～ 299

		た。出発時点呼に異常はなく、本人に持病はない。作業所は直射日光を遮る物は無い。		
7	17 ～ 18	配送先の冷凍倉庫にて納品作業中、庫内の温度上昇を防ぐためシャッターを下ろしたところ、シャッターに不具合があり、勢いよく降りて左足甲に当たり負傷した。	49	30 ～ 49
7	16 ～ 17	倉庫において積み込み作業中、550?の冷蔵庫（約120kg）をハンドキャリーで運ぶ段取りをしていたところ、バランスを崩し、冷蔵庫と床の間に頭部を挟まれ負傷した。	60	30 ～ 49
7	12 ～ 13	会社内倉庫において、グランドピアノを移動中、バランスが崩れて倒れてきたピアノに足を挟まれ横転した。倒れた際に足と背中に激痛がはしり、そのまま動くことが出来なくなった。	45	30 ～ 49
9	0 ～ 1	倉庫で紙袋にはいった石綿をトラックに積み込んで運搬、建設中のビルとか家の工事現場まで行き、トラックに積んだ荷物の石綿を降ろす作業をしていた。	76	30 ～ 49
9	12 ～ 13	ドライバーに数回に渡り太ももを殴られる、何日か続けて同じ箇所を叩かれたため、内出血状態で痛みを感じる。	36	30 ～ 49
10	10 ～ 11	納品先に到着して荷物を下ろすためにトラックの後ろに回った時、急に意識がとぎれて倒れ、頭を強打したもの。	72	30 ～ 49
10	14 ～ 15	タイヤのとり換え作業中に転がしていこうとしたが、タイヤが不安定状況にあり、体勢が悪かった。慣れた行動はしない。滑って転倒した際、足を挟んで負傷した。	66	—
11	17 ～ 18	被災者は、製品の小袋専用荷札を作成していた。KCT7号機の機械停止に気付き機械復旧に向かった。そこで詰所出入り口のステップにて安全靴を履き損ね被災した。	57	300 ～ 499
	8	回収先にてクリーニング品の回収作業中、フロアーのバックヤードにおいて、回収物		10

11	～ 9	の整理を行っていたところ通用口の鉄製のドアを急に勢いよく開けられ、ドアの目の前にいたため開いたドアが前頭部に当たり受傷した。	49	～ 29
11	9 ～ 10	メンテナンスを終えた大型車を移動させる為に、その車両の運転席に着席した時に、腰に痛みを感じた。時間の経過とともに痛みがひどくなった。	67	1～ 9
12	67	納品業務が終了し、営業所へトラックで戻るため走行中、居眠り運転となり、交差点で信号待ちをしていた大型トラックに追突し、キャビンが変形したことにより、左足がはさまり、大腿骨膝蓋骨の骨折となった。	56	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html